

令和五年度

京都大学生存圏研究所公開講座

サステナブルな未来を創る

新しい材料のはなし

参加費
無料

対象:高校生以上

第一回

令和5年11月10日(金)

17:30~18:30

次の千年の木材のおはなし

松尾 美幸 (生存圏研究所 准教授)

京都や奈良の代表的な社寺建築を思い浮かべてみてください。木材は、適切なメンテナンスをすれば非常に長持ちする材料だということに気が付きます。なぜ、木材はかくも長持ちするのか、そして、次の千年でどうなるのか？ 最新の研究をご紹介します。



第二回

令和5年12月8日(金)

17:30~18:30

二酸化炭素でものづくり
～水を使わず材料加工～

奥林 里子 (生存圏研究所 特定教授)

人間の生存に欠かせない「衣食住」という言葉があります。SDGsへの関心が高まっているいま、二酸化炭素を有効活用し、水を使うことなく衣類を染めたり、加工したりできる新しい「衣」の技術が注目を集めています。



第三回

令和6年1月19日(金)

17:30~18:30

未来を築く木質炭素：その秘めた力と可能性

畑 俊充 (生存圏研究所 講師)

いにしえより燃料などに利用されてきた木質炭素。その化学的な構造や性質を詳しく調べていくと、環境にやさしい材料として、驚くべき可能性を秘めていることが分かってきました。



第四回

令和6年2月16日(金)

17:30~18:30

木の音から人と地球の未来を考える

仲井 一志 (生存圏研究所 特定准教授)

ピアノやバイオリン、クラリネットなど、皆さんが良く知っている楽器は、多種多様な木材を組み合わせて作られていることをご存じですか？ 楽器についての素朴な疑問をひも解きつつ、木の音を切り口にして、地球の未来について考えてみます。



オンライン開催
事前申込制

聴講希望の方は、下記のGoogleフォームからご登録ください。

<https://forms.gle/nuodn9MeJgsUZaW68>

本公開講座のウェブサイト (QRコード) :

https://www.rish.kyoto-u.ac.jp/rish_koukaikouza_r5/

